

エボニック、PeroxyChem 社の買収を完了

2020年2月7日

- ・ 米裁判所が連邦取引委員会の訴えを棄却
- ・ 判決ではペルオキシ・ケム(PeroxyChem)社の過酸化水素事業の特殊性を確認
- ・ 環境に優しい過酸化水素(H₂O₂)および過酢酸(PAA)製品は市場で平均以上の成長率を持つ

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン)は、ワシントン D.C.裁判所が連邦取引委員会(FTC)の訴えを棄却したことにより、6億4千万米ドルで米ペルオキシ・ケム社の買収が完了したことをお知らせします。

「エボニックにとって大変良い日となりました。裁判所は、ペルオキシ・ケムのポートフォリオはきわめて特殊性が高く、弊社の製品と重複しないという当社の見解を認めました。当買収により、特に環境に優しい消毒剤市場において更なる成長の機会がもたらされることでしょう」と、エボニック インダストリーズ取締役会長クリスチャン・クルマン(Christian Kullmann)は述べています。

エボニックは、2018年末にペルオキシ・ケム社を買収する契約をワン・エクイティ・パートナーズと締結しています。ペルオキシ・ケム社は過酸化水素(H₂O₂)と過酢酸(PAA)を製造するメーカーであり、利益率の高い特殊用途利用を得意としています。米国以外の反トラスト関連当局が買収をすでに承認しているなか、2019年8月FTCが買収完了を阻止する訴訟を起こしていました。

ペルオキシ・ケム社 CEO ブルース・ラーナー(Bruce Lerner)は、今回の法的判断を歓迎し、「不確定な状況下での2019年の業績は好調で、難しい経済状況にもかかわらず、さらなる売上げおよび収益増を記録しました。二つの事業の統合により、当社社員は、お客様のためにより良いソリューションを開発していくことができるようになります」とコメントしています。

ペルオキシ・ケム社の2019年収益は約3億ドル、調整後 EBITDA は6,400万ドル以上です(2018年、収益:約3億ドル、調整後 EBITDA:約6,000万ドル)。2019年のエボニックの過酸化水素事業も成長傾向にあり、スペシャルティケミカル事業へよりフォーカスするという戦略が、事業の好調を後押ししています。2019年度はさらなる収益増を達成し、特に EBITDA のマージンは社全体のターゲット幅18~20%内にあります。

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

反トラスト法の要件を満たすためにペルオキシ・ケム社は、プリンスジョージ（カナダ、ブリティッシュコロンビア州）にある工場をいずれ手放すこととなります。この工場は、主に標準的な過酸化水素製品を製造し、その収益が占める割合はペルオキシ・ケム社、エボニック双方にとって微々たるものです。

エボニック インダストリーズ CFO ウテ・ヴォルフ (Ute Wolf) は、「昨年メタクリル酸事業売却により、エボニックの財務ポジションは強化されました。今後は予定通り、この売却で得られた資金の一部を、スペシャルティの度合いが強く、かつ、フリーキャッシュフローの多い、高マージンで景気動向に左右されにくい選びぬかれた事業拡大のための投資に充てます」と述べています。

H₂O₂とPAA市場は、サステナブルな製品やソリューションを求める現在のトレンドの恩恵を受けています。過酸化水素は、反応後に水素と水に分解されるため、環境に優しく、かつ、高資源効率です。そのため、市場取引されている薬品の中で最も純粋で幅広い用途があり、特にサステナブルな消毒剤としての需要が高い製品です。ペルオキシ・ケム社のH₂O₂およびPAA事業は、景気動向の影響を受けにくい、環境、食品安全、電子機器向け半導体業界のエンドユーザーを対象にしています。

ペルオキシ・ケム社は、こうした背景から、2019年メンフィス（アメリカ、テネシー州）にPAAを利用した下水処理場を開設し、成功を収めました。メンフィス市と長期供給契約を結び、2020年も安定的な収益を見込んでいます。処理場の資本支出は全額ペルオキシ・ケム社が負担しています。契約時の合意内容に従い、このタイムリーな成功事業を勧誘し、買収価格は当初発表された6億2,500万米ドルから、6億4,000万米ドルに増額されました。

グローバルに展開する両社は、特に事業内容、ロジスティクス、製品ポートフォリオ、新技術の開発などが相互補完する組み合わせであるため、エボニックとしては変わらず2,000万ドル規模のシナジー効果を期待しています。このシナジー効果は2022年までに完全に発揮される見込みです。

シナジー効果を含む買収価格（企業価値）は調整後年間EBITDAの約7.6倍、あるいはシナジー前の9.9倍となります（2019年度財務諸表に基づく）。この買収は早くも2020年のエボニックの株式当たりの調整後収益およびフリーキャッシュフローにプラスの効果をもたらしています。ペルオキシ・ケム社は買収完了日の2020年2月3日、エボニックに完全に統合され、買収された事業はリソースエフィシエンシー事業に統合されました。

100年以上のルーツをもつペルオキシ・ケム社は、フィラデルフィア（アメリカ、ペンシルベニア州）に本社を構え、世界中に約600名の社員が働いていま

す。北米を中心に、ドイツ、スペイン、タイなどに合計 8 カ所の製造拠点が
あります。エボニックも、アクティブオキシジェン事業部において、過酸化水素と
その関連製品を何十年にもわたって製造してきた経験をもち、世界各地に 13
の製造拠点を構える世界最大手メーカーの一つです。

エボニック インダストリーズについて

エボニックはスペシャルティケミカルの世界的リーダーの 1 つです。専門性の高いビジネス、顧客中心の革
新的な技術力、信頼できるパフォーマンス志向の企業文化は、エボニックの企業戦略の根幹であり、収益性
の高い成長と持続的な企業価値向上に貢献します。エボニックが優位性を誇るマーケットから企業利益の
多くはもたらされています。100 カ国以上で事業を展開し、2018 年度の従業員が 32,000 人を超える継
続事業の売上高は 133 億ユーロ、EBITDA(金利・税金・償却前利益)は 21.5 億ユーロを計上しました。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知
のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があ
ります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義
務を負いません。

(本プレスリリースは、2020 年 2 月 3 日にドイツで発表されたものを翻訳しています。)